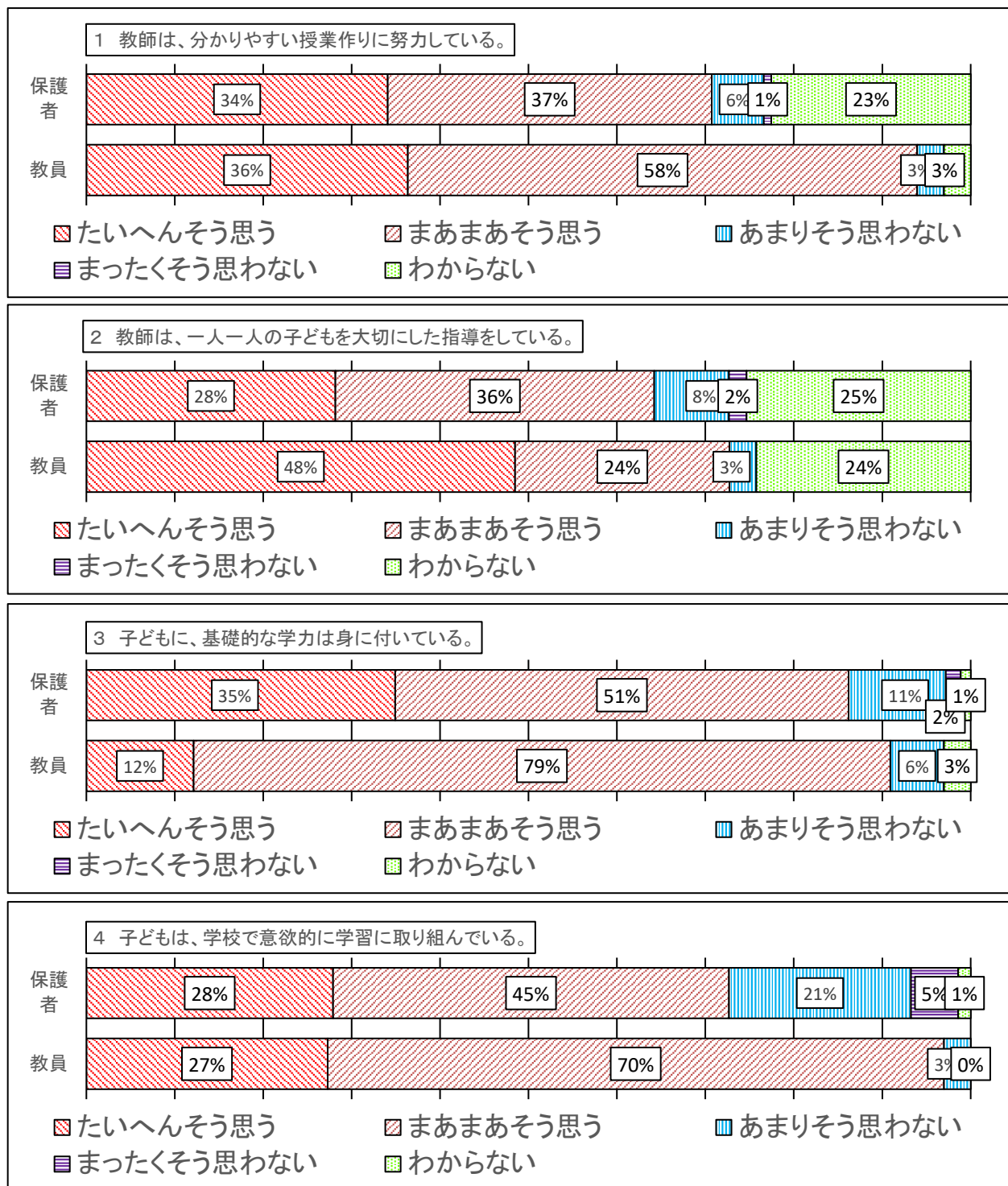


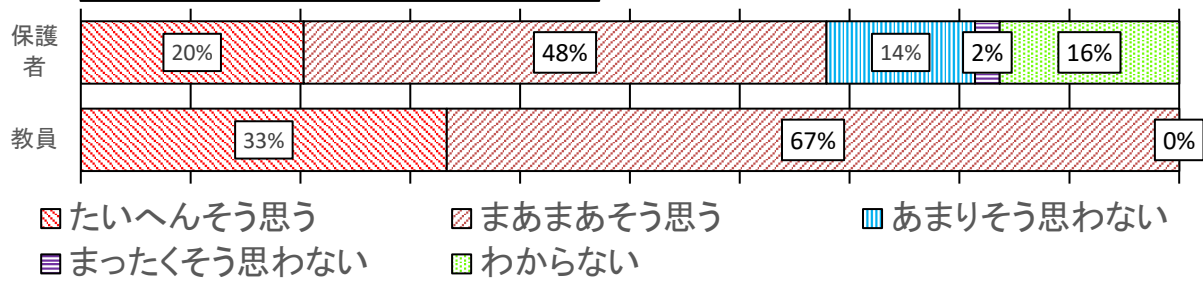
令和２年度 学校評価アンケート結果について

今年度も、「学校評価アンケート」を「保護者」と「教員」で実施しました。全部で保護者３５５名、教員３３名の回答を、以下のように「保護者」と「教員」について割合で比較し、考察してみました。

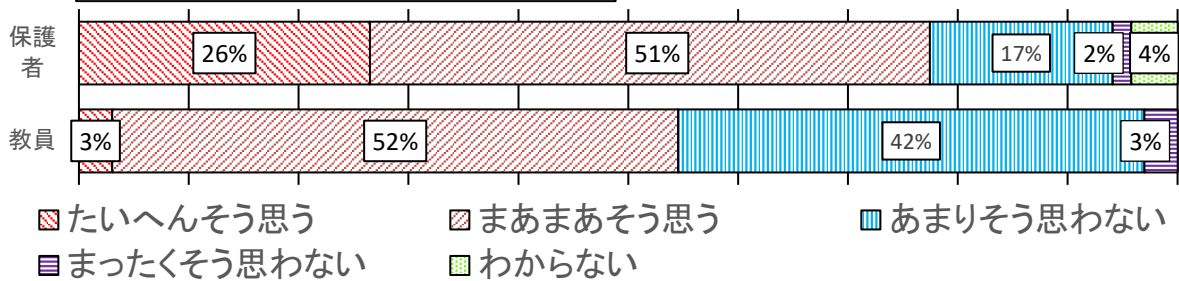
令和２年度学校評価アンケート結果



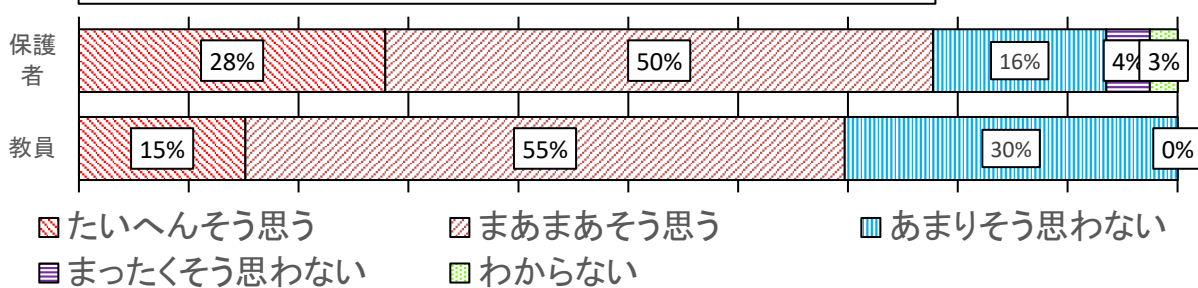
5 学校は、子どもたちの様子をよく把握している。



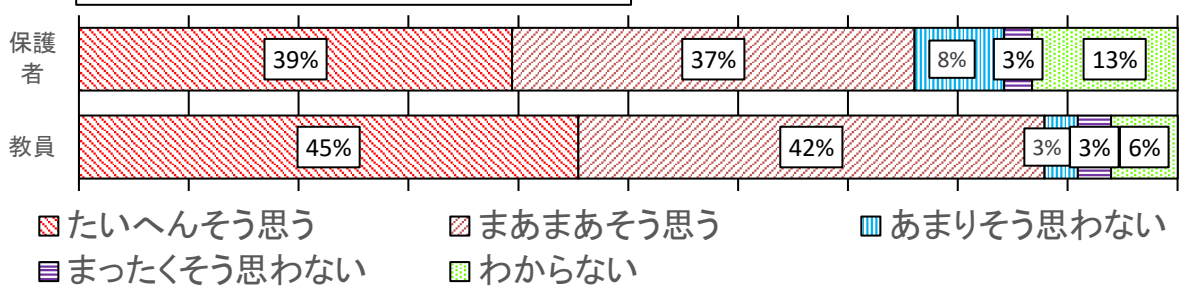
6 子どもたちは、あいさつや返事がきちんとできる。



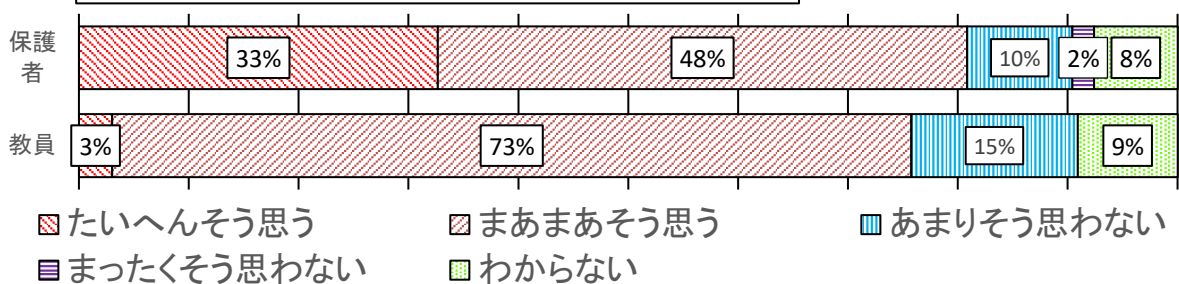
7 子どもたちは、「時間を守る」「身だしなみに気をつける」を意識して生活している。

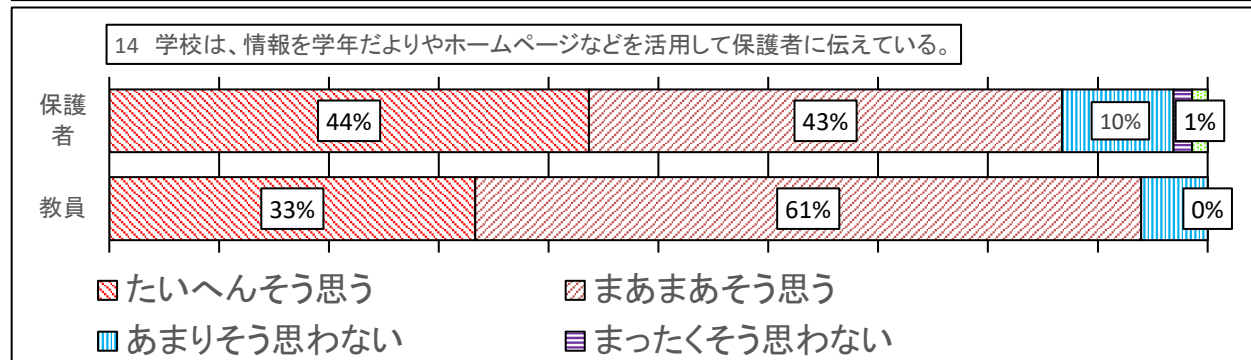
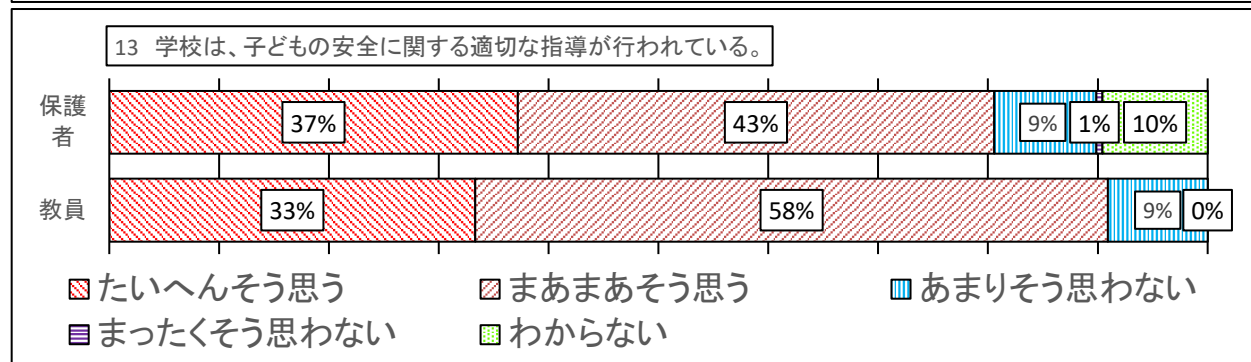
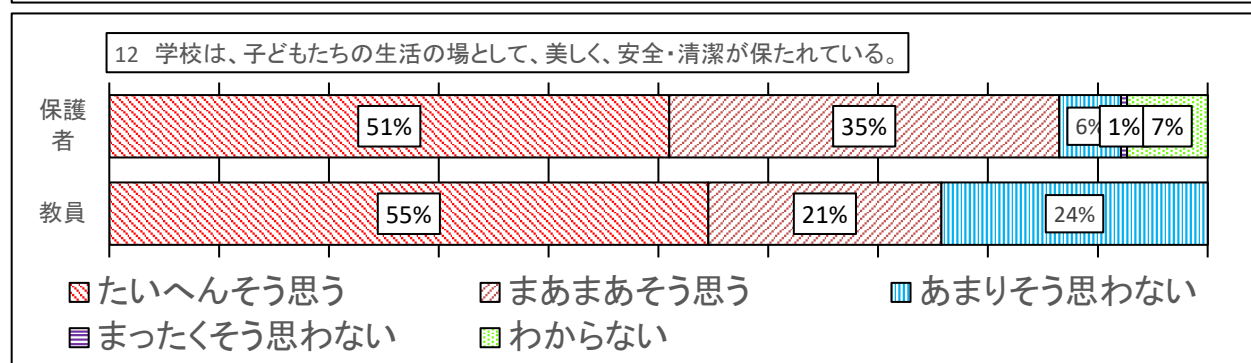
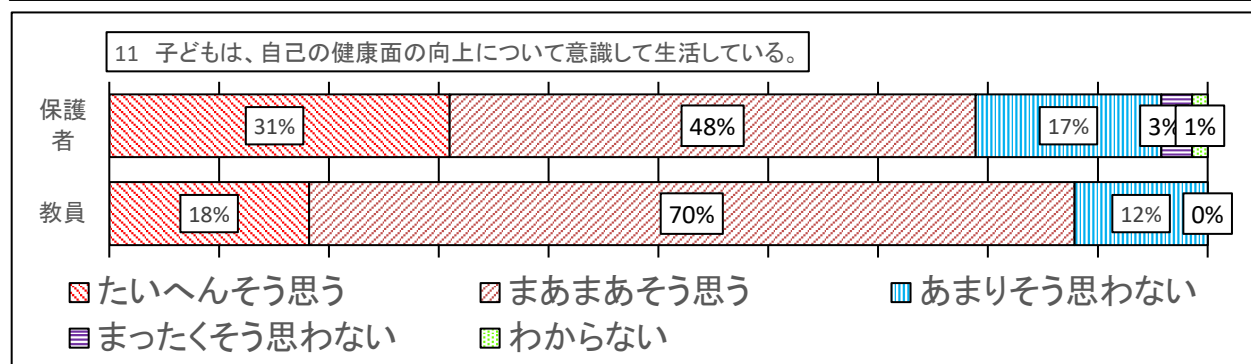
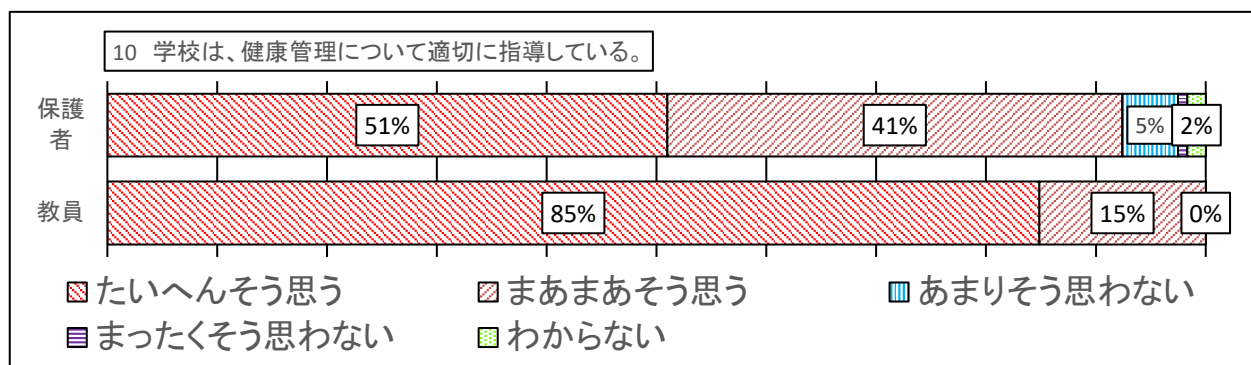


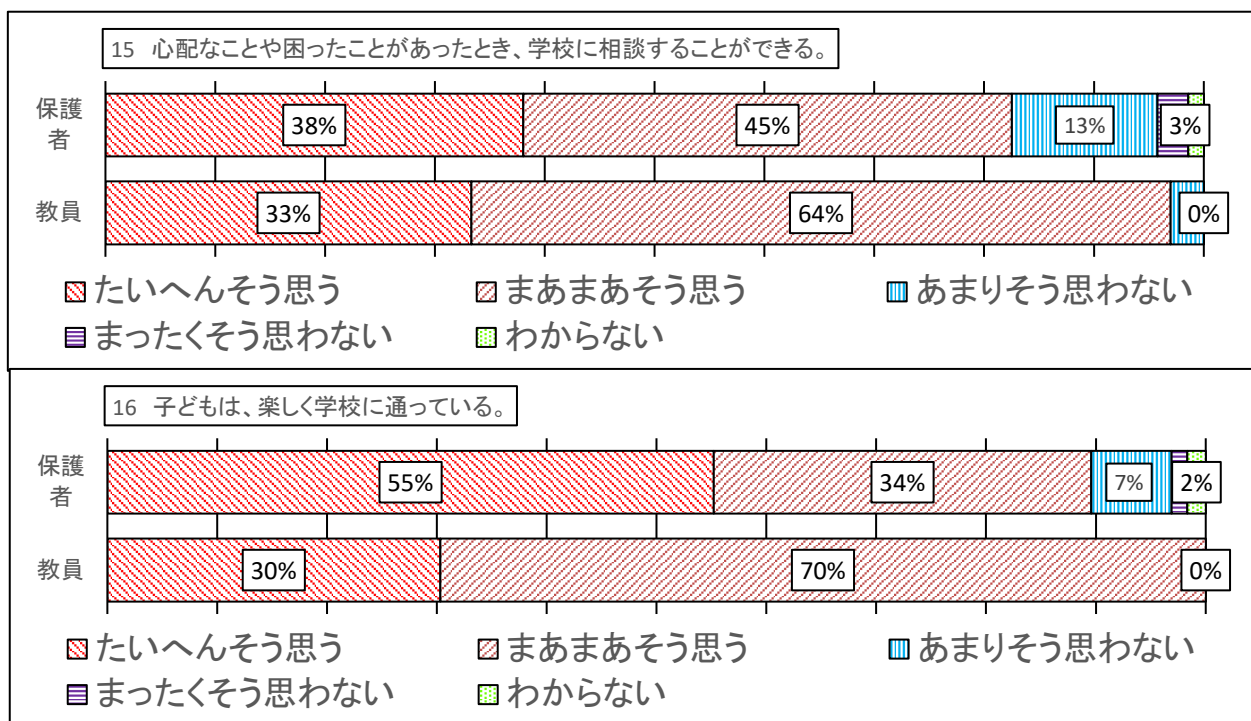
8 行事を通して子どもたちがふれあいを深めている。



9 子どもたちは、友だちとなかよくし、思いやりの心が育ってきている。







今年度は、「保護者」「教員」共に、全ての回答において、「たいへんそう思う」「まあまあそう思う」という肯定的な意見が約80%であった。

問1「教師はわかりやすい授業作りに努力している」について教員は「たいへんそう思う」「まあまあそう思う」と回答している割合は97%と、日常の授業改善を進め日々「わかりやすい授業作り」を意識している。しかし保護者は、「わからない」と答える方の割合が23%と多く、コロナ禍においても感染予防対策を講じて授業参観などを実施し保護者の皆様にも授業を参観していただく必要性を感じた。学校はいつでも参観が可能なことも、お知らせしていく必要があった。

また、問4「学校で意欲的に学習に取り組んでいる」において、「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」という意見が保護者は26%、教師は3%と回答の割合が乖離している。教員は日常の子どもたちの学ぶ姿を肯定的にとらえているが、この1年間学校の授業を見ていただいていない保護者の皆様からは不安の声の現れであると考えられる。より多くの保護者の皆様に「成果」を実感していただけるように、令和2年度から6年生では教科担任制を一部取り入れ、令和3年度には5・6年生で4月より教科担任制を導入し、すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指していかなければならないと考えられる。「子どもたちとのふれあい」を大切にする中で、より一層、「子ども理解」「保護者理解」に努め、信頼できる勝川小学校を目指していきたい。